

文部科学省指定2期4年目

SSHスーパーサイエンスハイスクール



◎ SSH 特別講演会〔総合的な学習の時間〕 ……全校生徒参加……

小平 桂一博士講演会 東京大学 本郷キャンパス 安田講堂にて実施

7月13日(月)午後1時30分～4時まで、東京大学 本郷キャンパスの安田講堂において、総合的な学習の時間として、全校生徒参加によるSSH特別講演会を実施しました。講師は、元国立天文台長、東京大学名誉教授で、ハワイ島の4205m マウナケア山頂に日本初の海外研究施設、すばる天文台を創設したプロジェクト・リーダーである小平桂一博士です。

第1部 (テーマ)「すばるにかけた夢」

小平桂一先生特別講演会 50分

第2部 (テーマ)「グローバル化の時代」

パネルディスカッション 60分

(登壇者) コーディネーター 武内 彰校長 助言者 小平桂一博士

卒業生の東京大学宇宙線研究所1年生、東京大学4年生(英国留学経験)

在校生の昨年度SSHポストン・ハワイ島海外研修参加 代表3名

前半は、小平先生のプロジェクトにかけた夢と人生、後半は、グローバル時代についてどう向き合っていくかについてのパネルディスカッションを行いました。小平先生のお話とともに、卒業生、海外生活の経験ある在校生などの体験に基づく話もあり、貴重で有意義な討論会となりました。



◎ SSH運営指導委員会



5月29日(金)、第1回SSH運営指導委員会が行われました。日比谷高校では、毎年、様々なSSHの取組を行っています。こうした取組は、学識経験者であるSSH運営指導員の先生方からの指導・助言を頂いて実施しております。今年も、各界で活躍されております7名の先生方及び東京都教育委員会の先生方より御支援頂き、日比谷高校のSSHの更なる充実した取組を行ってまいります。

◎東京工業大学フォーラム「本校卒業生の修士課程1年生による発表」

6月17日（水）の放課後、東京都教育委員会主催の第3回東京工業大学フォーラムが行われました。日比谷高校では、毎年SSHの取組として積極参加をしています。第一部は、地球生命研究所副所長である井田 茂先生による「地球外生命」についての講演が行われ、第二部では、在校生の講演として、大学院理工学研究科 修士1年生、日



本校生徒23名参加



本校生徒による質問

比谷高校在学中にはハワイ島海外研修にも参加した本校の卒業生による講演もありました。また、当日の質疑応答の時間では、日比谷高校から5人の生徒が次々と積極的に質問をするなど、有意義な体験が出来ました。

◎ **新企画**【博物館学】の学習

J Pタワー学術文化総合ミュージアム「インターメディアテク」訪問

7月3日（金）、東京駅丸の内側のJ Pタワー学術文化総合ミュージアム「インターメディアテク」を訪問しました。日本郵便と東京大学が産学協働プロジェクトとして設立した博物館です。展示や教育プログラムの企画・実施は、東京大学総合博物館が担っており、東京大学が所有する貴重で時空を超えた学術標本が工夫をこらして展示されています。23名の生徒が3グループに分かれ、6人のインターメディアイトとともに対話しながら見学、講義室で博物館についての意見発表、東京大学総合博物館の先生による「博物館学」についての講義、班ごとの博物館の在り方についての討論と発表など生徒の積極的な取組による内容の濃い企画でした。未来のために過去にしっかりと向き合い、現在を見つめる機会として、博物館の意義、役割、在り方について考えさせられた有意義で貴重な訪問でした。



◎SSH 自主探究入門 『研究の進め方・まとめ方』講座の開催

生徒の自主探究を支援する目的で、毎年実施している1、2年生を対象にした標記の講座を本年度も下記のとおり実施しました。講座の中で、大島先生の専門である「脳血管の血流シミュレーション」のお話もして頂きました。

日時 6月9日（火）15：30～17：00

講師 東京大学大学院情報学環 教授 大島 まり先生（本校卒業生）



◎SSH 化学《首都大学東京 高大連携プログラム》

7月7日（火）15：30より、首都大学東京より、三島正規先生をお招きし、第1回化学科SSH出張講義が実施されました。高校の化学および生物の基礎から大学教養レベルの講義の後、化学と生化学の基礎・タンパク質について、構造生物化学：生命機能の化学的解説、薬はなぜ効くのか？生命と物質の接点等について幅広い講義をして頂きました。

テーマ：「化学の言葉で読み解く分子生物学の最先端」

講師：首都大学東京 准教授 三島正規先生

～参加した生徒のアンケートより～

- ・光るクラゲのGFPを使って自分の探したいものを光らせたという話が印象に残った。
- ・生物のDNAの転写やタンパク質の機能が、化学で習う性質で説明できてしまうことに驚きを感じた。

